

根を張るには 先生も育てて

行教授(65)に課題も含めて聞いた。
(世古絃子)

新聞と、これから

日本では一九八五年に初めてNIEが提唱された。当時は活字離れが始まり、新聞の売れ行きが悪くなっていった。同時に、思考・判断・表現型の世界標準の学力を高めるという教育課題があった。新聞界と教育界が連携して生まれる教育力を使えば共に効果的と思われた時期があった。今目的はむしろ情報リテラシー(活用能力)や民主主義教育などに変わってきた。日本のNIEの特徴は、子どもが感想を書いたり、意見を述べたりする発信表現型が多い。ゲームや新聞作りなど多様な活動も特徴。日本の学校は明るい内容の記事を取り上げる傾向がある。一方、外国はクリティカルシンキング、深い読み解きをして問題の背景を探る。日本は楽しい活動が多いが深くない。カリキュラム化していないので単発的で熱心な先生のごとくでござっています。三十年間でNIEは普及したか。してきたと思います。一つは量的に拡大してきた。全国大会の参加人数も実践校も増えてきた。学習指導要領にも盛り込まれて使いやすくなった。

た。また、確かに子どもが育つという手応えがあるというのでしようか。新聞を使って学んでいる子どもたちが人間的に魅力的だという要素が出てきたのは確か。質的にも伸びてきたんじゃないかな。全国大会は、第一回の東京大会から今年で二十二回。私は過去の大会を三期に分けて考えています。第一期は二〇〇〇年くらいまででNIEを広報するような会が続いた。NIEをやるとこんな子どもを育てられる、ちゃんと教育として位置づけられるものと認知してもらった。第二期は学校に閉じ込めず、家庭や地域、生涯学習として高齢者や幼児期にもと縦軸にも横軸にも広がっていくというのがあったと思います。第二期はここ数年の取り組みで、今まで求めたNIEとは異なる新しい価値を見つめる。それは新聞で社会に関心を持ったリ、言葉の力や

感動味わうことが大切

情報を読み取る力、表現する力が確かに付くという以上のもの。その大事な価値を見つけて出さないといけない。NIEを根付かせるには。やはり人です。今、三十年前に熱心だった先生が定年を目前に迎えていても、いまだに中心です。若い人もぼつぼついるが、私をふくめ大半は高齢者。次の先生を育てないといけない。広島の場合は第二回大会後に学習会を始め、先生をサポートする組織をつくって次の世代を育てた。今、その人たちが育てた子どもが大学でNIEをやりたいと教育学部に進む流れができました。NIEで育った子どもがNIEをやりたいと言ったら本物でしょう。育ったかどうかわ、本当は評価していかないといけないですね。若い先生たちは新聞を読んでいることも多い。成長するプロセスの中で新聞に出合っていないんですよ。一番問題なのは感動を味わっていない。だから新聞が面白いと思わない。小学校五年生くらいまでに「新聞に登場している人たちが魅力的だなあ」と思えたらいい。学習指導要領に新聞活用が盛り込まれ、使いやすくなったのは確かです。ただ、読んだことのない先生が突然新聞を使えと言われたら「切り抜いて感想書け」なんです。子どもが嫌になります。新聞は深く読解できる人がやらないと逆効果。新聞を使って授業ができるような先生を育てるカリキュラムが必要です。

授業などに新聞を活用するNIEが日本に登場して、約30年。取り組みは広がったと言えるのだろうか。日本NIE学会長を長年務め、草創期から関わってきた福山大の小原友

NIE全国大会名古屋大会の会場で、NIEの草創期から今までを振り返る小原友行教授＝名古屋市熱田区の名古屋国際会議場で



福山大・小原友行教授に聞く

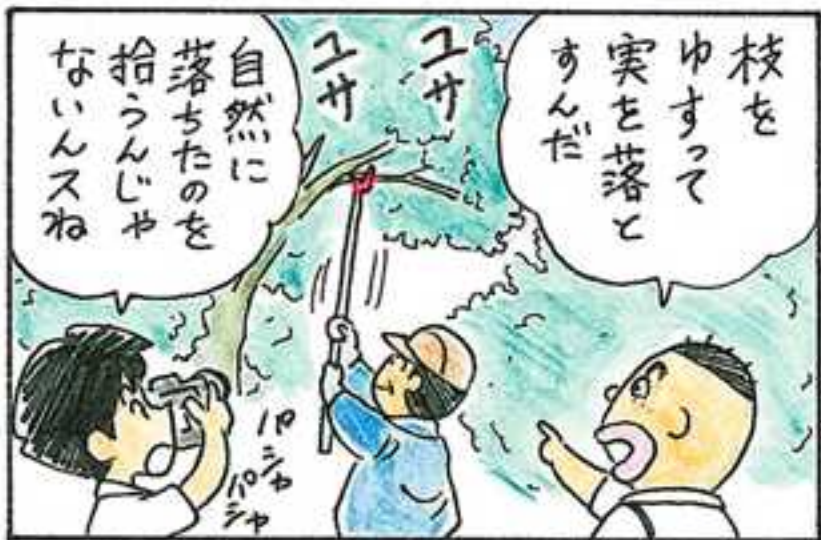
こばら・ともゆき 広島大教育学部、同大学院教育学研究科の教授を経て、今年4月から福山大人間文化学部教授。広島大付属三原中学校長なども務めた。2010～16年に日本NIE学会長。専門はNIE学、社会科教育学。

旬を伝え、販売促進に一役

愛知県稲沢市祖父江町は、全国有数のギンナンの産地で、粒が大きいことで知られています。もう収穫時期を迎えています。

「収穫が始まる」「出荷がピークを迎えた」といった記事を書かせます。季節の移り変わりを読者の方に知らせるとともに、地元の農産物の販売促進に少しでもお役に立てればという狙いもあります。

「クを迎えた」といった記事を書かせます。季節の移り変わりを読者の方に知らせるとともに、地元の農産物の販売促進に少しでもお役に立てればという狙いもあります。



新聞とわたし

新聞は毎日、朝夕刊に目を通します。家族が読んでいたので、自然と習慣になりました。帰宅後にぎゅと目を通し、興味がある記事をスクラップしています。

歴史が好きで、最近は大阪府の百舌鳥・古市古墳群が国連教育科学文化



大橋壮真さん

興味ある記事 スクラップ

機関(ユネスコ)の世界文化遺産の国内候補に決まったことを伝える記事を切り抜きました。千年以上も昔のことに思いをはせながら、現在の動きとつなげて考えることができている面白いです。リニア中央新幹線など鉄道の記事もよく読みます。開通を前に、名古屋のまちが変わっていく様子も写真とともに分かり、名古屋駅に行くのが楽しみです。いろいろな新聞を読み比べて、違いも知りたいです。(愛知県一宮市尾西第二中三年)